

ねじりはちまき

8月 葉月 立秋 処暑の月になりました。
8月8日 立秋です。13日からお盆です。23日 処暑。

昭和20年8月15日は、終戦の詔勅が宣布され、太平洋戦争がようやく終わりを迎えました。
犠牲になった多くの戦没者を追悼し、戦争の根絶や世界平和を誓う祈りの日が「終戦日」です。
「終戦忌」という表現には、その思いがより強くにじんんでいるように感じられます。

戦争や空襲を体験していない世代が大多数になったからこそ、その真実やむごさ、理不尽さを学ぶことがかかせないのではないのでしょうか。
8月15日は、毎年巡って来ます。辛い歴史や戦争やテロの続く世界の現状から目をそらすことなく、心にとどめておく為に、大切にしたい季語ですね。

そろそろ夏の疲れが出る頃です。
どうぞ、お身体を大切になさって下さい。

幸田 常一



お世話になっております。
本宮市のリフォーム工事を長くお世話になっておりましたが、
お陰様で先月末頃に完成いたしました。

センジョウガダケ

私共が入会させて頂いている K 市の山岳愛好会では、月例山行と称して毎月 1 回、日帰り登山を楽しんでおります。この月例山行の内、毎年 1 回をメイン山行を称して、2泊3日の日程を組み登山をしております。

本年も7月中旬に2泊3日の日程で南アルプスの仙丈ヶ岳（標高3033m）への山行が企画され、その山頂に立つことが出来（妻は膝痛のため私1人が参加）しましたので、皆様に報告をさせていただきます。

1日目は、K市を6時に参加者14名を乗せバスで出発。東北道・北関東自動車道・上信越自動車道・長野自動車道・中央自動車道を走り、伊那ICから国道361号線を順調に進み、予定より早めに戸台口に到着。此処から南アルプス林道のシャトルバスに乗り換え、約1時間で終点の北沢峠仙流荘前に到着（この山荘は、数年前甲斐駒ヶ岳に登頂した際にお世話になった山荘）しました。今回は予約する段階で満員。やむなく此の山荘の近くにある長衛小屋に宿泊。

2日目は、早朝5時に朝と昼の二ギリメシを長衛小屋から頂き、全員元気で仙丈ヶ岳を目指して出発。登山道はよく整備されているが、初から急登が続く。森林限界を超えるあたりから展望が開け、指呼の間に甲斐駒ヶ岳が美しい姿を現し、高度を上げるに従い遠く富士山も山頂に傘雲をかぶり、姿をみせてくれる。足元に目を移すと、這い松の叢が見事に彩を添えている。

更に高度を上げると、雪解けとともに咲くイワカガミ、チングルマ、キバナシヤクナゲなどの花が咲き乱れている。小仙丈ヶ岳近くで足の弱い4人が仙丈ヶ岳登頂を断念し、仙丈小屋を経由して今夜宿泊予定の馬の背ヒュッテに向かう。私共10人は、仙丈ヶ岳に直行する。途中天候が激変。風雨が激しくなり、登頂の際の眺望を楽しむことが出来ず、三角点にタッチしただけで下山する。仙丈小屋まで下り、寒さに震えながら小屋の外で昼食。間もなく雨は止んだが、空は厚い雲のまま。振り返ると、真っ白な雪渓が仙丈ヶ岳のカール一杯に広がっている。雪の消えたばかりの沢を下り、馬の背ヒュッテで途中下山していた仲間と合流して1泊。畳1畳に2人の寝床。疲れている為か熟睡。

3日目は、予定を変更して薮沢コースを下る。馬の背ヒュッテ付近の僅かな草地には、鹿の食害を防ぐ為のネットが張られていたが、こんな高い所に鹿が出るのかと疑問に思う。

歩き出して間もなく、雪渓が残る沢に出てその上を歩くこともしばしば。雪渓と若葉の間の滝が見事なコントラストを見せてくれ、何とも贅沢な眺め。

コースを変更したリーダーに深謝。北沢峠からシャトルバスに乗り戸台口へ。仙流荘で2日間の汗を流して、チャーターしたバスに乗り、全員元気でK市に

帰ってまいりました。

贅沢な山行に参加させて頂き、山頂に立つことが出来、山の仲間から心から感謝している次第です。

k・s記

.....

☆夏季休業のお知らせ☆

H27、8/12(水)～8/16(日)まで
お休みさせていただきます。
尚、17(月)は平常通りです。

また、8/29(土)は弊社都合により、
お休みさせていただきます。
ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いたします。

.....

☆タカラスタANDARD「タカラフェア」のお知らせ☆

タカラスタANDARD郡山ショールームにて、**新製品発表展示会**を
開催いたします。日時は次の通りです。

9/12(土)・13(日) 午前10時～午後5時まで

<場所> 郡山市名郷田1丁目30
<電話> 024-922-7617

キッチン、トイレ、お風呂、洗面台、など充実の品揃えです
ので、楽しんでいただけたらと思います。ぜひ、お出かけ下さい。

自然とエネルギー

今回は自然とエネルギーについて考えてみたい。福島県は原発事故を受けて、東電の県内原発の全基廃炉を要求しており、原発に依存しない自然エネルギー、すなわち再生可能エネルギーの県にすることを目指している。国の新エネルギー計画では、電源構成比として原発を20～22%とし、一方、再生可能エネルギーは22～24%とし、原発を若干上回る形にはしている。再生可能エネルギーに対する取り組み姿勢はまだ明確になっていない気がする。さて、エネルギー問題はいろんな論点があって幅広いので、今回のテーマは地球温暖化・廃棄物処理との関連で、自然との係わりでエネルギーについて考えてみたいので、そこに論点を絞りたい。そもそも発電の歴史をたどれば、明治に水力発電でスタートし、次は火力発電（石炭・石油・液化天然ガス）がどんどん増設され、やがて原子力発電が全国で55基も設置されるようになった。もともと電力は自然エネルギーであったのだ。それが需要の伸びに対応するために火力に、原子力に依存するようになったのだ。火力は化石燃料を使用するので温室効果ガスであるCO₂を多く排出する。CO₂排出を抑制する技術開発は進んでいるものの、まだまだである。CO₂を外に出さないで閉じ込めようとするとその設備コストが莫大である。原子力は一旦重大事故が起こるとご承知のように原子力災害をもたらすが、通常は発電に伴ってCO₂を排出しない。しかし、一方で多くの放射性廃棄物（核ゴミ）を出す。実はこれが大変な厄介者である。放射性物質は自然界生物（人間も含めて）に害を及ぼす。遺伝子を破壊するのである。この有害な物質を無害化する技術はなく、何らかの方法で封じ込めて放射能が時間とともに減衰するのを待つしかない。それに要する時間が何と10万年もかかるという。自然界にも放射性物質は存在する。しかし、高放射性の核ゴミは後の世代にとっては全く負の遺産である。こんなどうしようもないものを使用続けていいのだろうか。はなはだ疑問である。最終処分地も決まっていない。原発は安全であればいいというものではあるまい。

自然との関係では水力、風力、太陽光を使った再生可能エネルギーが望ましいのはいうまでもない。資源を消費することなく、CO₂も出さず、廃棄物も出さず、再生して繰り返し発電に使うことが可能だからだ。ただ、発電の安定性に欠けている点、発電コストが高い点などが課題ではある。発電コストの点では、火力発電もCO₂対策、原子力発電も廃炉も含めた安全対策の面で今後コスト高になるのは免れないだろう。再生可能エネルギーで発電の安定性に欠ける点については、特に太陽光発電は国の研究機関などで発電の高効率化の研究がなされているし、その進展に期待したい。また電力会社への売電をしないで自給する選択に関しては、災害時の停電対応も含め蓄電池の一層の性能アップの技術開発

とコストダウンが求められる。いずれにしても化石燃料を使うことによる温室効果ガスの排出やウランを使うことによる放射性物質の排出は、地球温暖化の進行や放射性物質の累積という負の遺産を次の世代に残すことになるわけで、現世代の選択としては軌道修正すべきであると思う。

さて、クリーンエネルギーとして今「水素エネルギー」が注目されている。その話題に移ろう。本当に「水素社会」は到来するのだろうか。その可能性はどのくらいあるのだろうか。まだまだ分からない点もあるが、最近の報道などを参考に探ってみたいと思う。そもそも何故「水素エネルギー」が注目され、本格登場が期待されるのだろうか。そして水素エネルギーは実用に向けてどういう段階にあるのか。

水素エネルギーは文字通り、水素を燃料としたエネルギーで、人類究極のエネルギーともいわれる。それは水素が地球上で普遍的かつ豊富に存在すること、燃焼させても水を生成するのみで極めてクリーンな燃料であることによる。CO₂を排出しないから地球温暖化抑制の面では救世主ともいえる。「燃料電池車」の例でいうと、水素と酸素を反応させて水と電気が発生する仕組みである。その電気を使ってモーターを回して車を走らせ、必要な水素は「水素ステーション」で補給する。電気自動車と比べて1回当たりの充填の走行距離も長く、また水素充填に要する時間は充電より短くて済む利点がある。燃料電池車は既に実用段階にあるが、水素エネルギーの場合、水素の製造法と供給法の課題があるという。製造法としては、当面都市ガス・天然ガス・石炭ガスを改質してつくる方法が考えられるが、これでは製造過程でCO₂を排出する難点がある。供給法にしてもガスボンベで運ぶかパイプラインで運ぶのだが、安全でCO₂排出の少ない方法にすべきということになる。いずれにしても、地球環境という観点に立てば水素ガスは基本的に「水からつくり出す」必要があるといえる。今、下水処理の汚泥からつくる研究もされている。

次に風力の話をしたい。風力発電のことではなく、帆船のことである。帆を張って風向きに応じた風力を活用して航行する（人力も使ったが）。しかも大航海もしたのである。ヨーロッパの大陸発見・植民地支配もこれによって可能となった。そこまでいかなくとも、帆船を使ってそれぞれの圏域でさまざまな交易がなされたわけである。我が国では江戸時代の北前船が知られている。つまり、電力エネルギーとしてとして使われる前には風力も船の航行に活用され、風車に活用され、水力は水車に活用されるなどそのエネルギーが人間の活動を支えてきたのである。考えてみると、石炭を使った蒸気機関が発明された18紀末の産業革命から現代までの歩みは、まだ200年ちょっとしか経っていない。人類の永い歴史のなかでほんの一瞬でしかないといえる。

最後になったが、小生宅では5KWの太陽光発電を行っている。開始したのは7年前のことである。採算のことは余り考えず、地球環境のことを考えて自分にできることをやろうと考えていたら、県内で一早く太陽光発電事業を立ち上げて頑張っている事業者がいることを知り、その方の思いを聞き、発電装置の設置をお願いしたのである。確かに費用はそれなりに掛かったが、環境保全のためには環境コストを掛けなくては行けない。再生可能エネルギーは多少高くても、その方を選択する人が多くならなくては、地球温暖化は抑制されない。今の私たちにできることは何か、である。

.....

今月の旬♥食材

「桃」

桃がおいしい季節ですね。

桃はほとんど水分ですが、整腸作用のあるペクチンという成分がとても豊富に含まれています。お肌をきれいにして、潤いを与えてくれるので女性にうれしい果物です。

桃はあまり日持ちしませんので、もし食べきれないようなら、ジャムにしたり、コンポートにしてもおいしいと思います。ジャムにすれば、プレーンヨーグルトに入れてもおいしいですし、こんがり焼いたパンにつけてもおいしいです。熱々の紅茶に入れても合いそうですね。

そういえば随分昔、何かのテレビCMに、こんな歌がありましたね。

♪あ～せも 桃の葉 肌によい～♪

桃の葉はあせもや湿疹に効果があると言われていました。

日本には昔から「桃湯」があったそうで、江戸時代には夏の土用に桃湯を楽しんだとか。

桃の生葉を水洗いして、乾燥させたあと、布袋に入れて湯に浮かべるそうです。

葉の効能を知っていたのでしょうか…

すごいですね、昔の人って。

熱中症を防ぐ

8月に入りました。
連日、厳しい暑さが続きますね。

熱中症対策が、毎日のようにテレビやラジオなどで取り上げられています。
水分だけでなく、日頃から水分と塩分をバランスよく摂取することが、熱中症の予防になります。

のどが渴いたなあ、と感じたときには、体はもうすでにかかなりの水分不足になっていることが多いので、こまめに水分補給した方がよいのだそうです。

また、体の調子がよくないときは、日中の暑い時間帯の外出は控えるとか、通気性のよい服を着るとか、出かけるときには帽子や日傘を上手に利用するなど、ちょっと注意することで熱中症を防ぐことができます。

まだまだ暑い日が続きますので、どうかお身体大事になさってください。



お湯に浸かってリフレッシュ

連日の暑さや湿度の多さ、職場での過冷房など、かなりストレスを感じながら毎日を送られていることと思います。

暑いからといってシャワーで簡単に済ませていませんか？

たまには、お風呂に入ってゆったり、リラックスしてみませんか？

入浴することにより、夏の疲れ、冷え、ストレスの解消になります。

37℃前後のぬるめのお湯に長めに入ること、副交感神経が働き、リラックスできます。半身浴でも同じです。お風呂上り、さっぱりとします。

一方、ちょっと熱いですが42℃前後のお湯に短時間入ること、交感神経を刺激し、全身の血行をよくします。

お気に入りの入浴剤を入れてもいいですね。

また、香りのさわやかなオレンジやレモンを入れても楽しめると思います。

<会社近況>

お世話になっております。

本宮市のリフォーム工事も先月完了し、現在は事務所内では書類の作成ですが、また、倉庫の整理整頓をしていて、現場では増築工事が始まりました。

増築工事は、今は外の作業なので暑さとの戦いでもあります。

日陰を見つけて休んだり、こまめに水分補給をしたり、休憩時間には梅干しを食べている人もいました。水道で顔を洗うついでに、頭から水をかぶっている人もいました。

暑い中での作業が続きますので、どうか体調管理には十分に注意して、何とかこの夏の暑さを乗り切ってほしいと願っています。

どうか、だれも具合悪くなりませんように…

私、事務員kは夏が苦手。今日は扇風機を回してもやる気がないのか、生ぬるい風しか吹いてきません。(>_<)

ダメだ、暑い。もうこうなったら、あれをやるしかない…

大変お行儀が悪いですが、バケツに氷水を作ってしまった。

そうです、足を入れるんです。

よ～し、グッドアイデア！！ これなら集中できそうだ。仕事もはかどります。

(°))<<

(°))<<

(°))<<

(°))<<

平成27年 8月5日 発行

有限会社 幸田建設

<発行責任者>幸田久美

〒969-1204

本宮市糠沢字八幡1番地1

電話、0243-44-3816

<後記>

夏は苦手。だから楽しそうなことを考えることにしました。

思い切り早起きしてお散歩するとか、巨大なかき氷を作って食べてみるとか、急降下の流しそうめん、線香花火を束でやってみるとか、あとは、お風呂に何かを入れてのんびり半身浴とか。何か…う～ん、何がいいか。事務員k